

## 神戸市従業員労働組合本庁支部との交渉議事録

1. 日 時：令和6年6月20日（木） 20：20～20：35

2. 場 所：行財政局会議室（1号館13階）

3. 出席者：

（市）行財政局総務課長、係長、他1名

（組合）市従本庁支部長、副支部長、書記長、書記次長、執行委員

4. 議 題：要求書の提出に関する交渉について

5. 発言内容：

（組合） 当局においては、本庁支部の組合員が働きやすい環境作りに取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。引き続き継続して取り組んでいただくため、現業闘争の山場に向け要求書を提出させていただく。

（組合） 次のとおり要求させていただくので、誠意をもって速やかに善処されますようお願いしたい。

「1. 自治体行政の責任として、市民に対する公平・公正なサービス提供の観点から、新規採用を行い全ての現業現場と現業労働を直営で行うこと。」「2. 休職・病気休暇等による欠員が生じたときは、労務職員の職場実態を考慮し速やかに正規職員で完全補充すること。」「3. 定年退職者・再任用職員任期満了者の補充は正規職員で速やかに行うこととし、その補充は年度当初とすること。」「4. 職種ごとの業務を確立し特色に合わせた業務を各職場と十分に協議し推進すること。また、各職場の班長制度を確立すること。」「5. 障害者の配置については、高齢化や障害の状況、職場実態に応じた施設・設備に改善し、働きやすい職場環境に整備し配置をすること。」「6. 男女が性差に関係なく、働くことのできる職場環境・勤務労働条件を整備すること。」「7. 施設の補修・改善については、各職場の要求に基づいて順次行うこと。」「8. 厚生物資の質の向上を図り、業務に必要な物資や備品については速やかに支給すること。」「9. 安全衛生委員会の機能強化を図り事故防止及び職員の健康維持に努力し、具体的施策について組合と協議・実施すること。」「10. 勤務労働条件に関わる全ての課題については、必ず事前協議を行うこと。この間、労使交渉によって妥結した内容については遵守し、また実施変更する際には労使で十分協議し、双方合意の後に実施変更すること。」「11. 定年延長、高齢期雇用については、課題を整理するとともに現業職場の作業実態に見合った配置を行い、高齢者が安心して働き続けることができる労働条件を確立すること。」「12. 以上の要求に対する回答については、誠意を持って文書回答するとともに、合意事項については文書協約を交わすこと。」、以上である。

（組合） それでは要求書の趣旨説明をさせていただく。

1については、全ての現業現場と現業労働である。

2については、本庁支部においては守衛、自動車運転手、エネルギーセンター、チャレンジドオフィスと特色のある職種が多い。今のところ休職や病気休暇等による欠員はないにしても、どこの職場もぎりぎりの人数で業務を行っているので、注視していただきたい。

3については、昨年度再任用を満了された方が、会計年度任用職員として残られている職場がある。会計年度任用職員で事足りると見られてしまうので、来年度以降については正規職員で補充いただきたい。

エネルギーセンターについては、熟練した技術が必要であり、何年かかけて技術を継承していかなければならないので、新しい人を配置し、育成していくことも今後考えなければならぬ。本来であれば、会計年度任用職員や再任用職員になる前に、新しい人を雇わないといけないのではないかと。そうでなければ将来回らなくなり、市職員全体に関わってくることになるのでよく検討していただきたい。

5については、障害者の方が配置されている職場については、周りがサポートしながら役割分担していけたらと思っているが、引き続き注視していただきたい。

6については、現在、女性はいないが、来られた場合にはお願いしたい。

7については、これから建て替えが進み、引っ越しが進んでいく。今後の進捗が分かればまた教えていただきたい。

10については、勤務労働条件に関わる全ての課題について、事前協議を行うということであるが、年度当初に時間外労働の縮減、やり方を変えられないかという話もあったので、そういう話があれば各所属にもだが、当方にも教えていただき、十分に協議をしていただきたい。

11については、現在、本庁支部では全ての職場に再任用の方がいる。守衛については、短時間の方が多くシフトが回らないこともある。みなさんの希望もあると思うが、職場実態と見合わないのであれば、違う方を配置することもあったのではないと思う。職員が高齢化していく中で、現職も含めた働きやすい職場環境作りや業務内容について、しっかり協議していきたい。

12については、10月の山場に向け、これまで以上に密に情報共有していきたい。

(市) 皆さま方におかれましては、市民が安全で安心して暮らせるために、現場の第一線で業務に従事いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

皆さまもご承知のとおり、地方自治体を取り巻く情勢は非常に厳しいものがあり、とりわけ地方公務員の給与等の勤務条件につきましては、引き続き各方面から強い関心を集めているところである。

また、本市の財政状況については、これまでの感染症への対応、物価高騰や急速な円安への対策、さらに、公共施設の光熱費や公共事業の事業費の増加など、想定外の財政需要の発生により、一層厳しくなることが見込まれており、今後の財政運営にあたっては引き続き、危機感を持って臨む必要がある。

さらに、急速に進展する人口減少をはじめ、社会状況の変化が激しさを増す中、複雑化・多様化する様々な政策課題の解決に向けて、スピード感をもって取り組んでいく必要がある。

そのため、「行財政改革方針2025」を強力かつ着実に実行し、事務事業の見直しや業務プロセスの見直しなどを推進していく必要があると考えているため、皆さま方には、改めてご理解・ご協力をお願いしたい。

ただいま、行財政局長あてに12項目からなる要求書をいただき、ご説明をお伺いした。要求内容につきましては十分に検討したうえで、勤務労働条件に関する事項について、改めて回答させていただきたいと考えているので、引き続きよろしくをお願いしたい。

(組合) 山場に向けて折衝を重ね、良い回答をいただけるようお待ちしておりますので、よろしくお願いしたい。

以上